



水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成

水戸市教育の目標

**知性にとみ、心身ともに健全な
風格をそなえた人間(水戸人)の
形成につとめる**

水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成を図るため、先人の教えである先見性や実践性、国際的な視野を念頭に置き、近世の教育遺産群として日本遺産に認定された弘道館の魁の精神を受け継ぐ文教の府にふさわしい、水戸ならではの魅力ある教育を推進する。

水戸市の特色ある保育内容

- AETとの関わり**
国際社会に対応できる子どもの育成に向けた英語遊びの推進
- 生活習慣の自立への支援**
周囲の社会の変化の中で生きていくために必要な生活リズム・習慣づけ
- 食育のすすめ**
「食育基本法」に基づく乳幼児期からの望ましい食習慣の育成
- 子育て支援**
子どもの健やかな育ちの実現のため、家庭・地域との連携

乳幼児期の教育及び保育の基本

「健やかな子どもの育ち」を支えるために一人一人に応じた教育及び保育を通して人間形成に必要な基礎を培う。

保幼一元的な教育及び保育

- 保育所と認定こども園、幼稚園が分け隔てなく乳幼児期にふさわしい環境の下で子どもの発達及び学びの連携を図る。
- 水戸市就学前教育及び保育カリキュラム
 - 教育及び保育の内容の充実
 - 保育者の質の向上

めざす保育者像

- 心豊かな保育者**
子どもの喜びや悲しみを自らの喜びや悲しみとすること。
子どもの驚きや感動を自らのものとすること。(感動を共にする。)
- 「共感する」**
そこに子どもとの間に信頼関係が生まれる。
- しなやかな保育者**
考え方に柔軟性をもつ。「できないから」ではなく「どうしたらできるようになるか」と発想の転換をし、選択肢を増やし視野を広げて対応する。
- 「知恵と工夫」**

育てたい子ども像

- 元氣よく遊ぶ子**
心も体も健康で、意欲的な子どもを育てる。
- 思いやりある子**
友達と力を合わせて生活したり遊んだりする中で、自分や友達も大切にできる思いやりのある子どもを育てる。
- 自ら考え遊ぶ子**
自然や身近な人々に興味をもち、友達と協同して遊びを発展させていく中で、自ら考えて遊べる子どもを育てる。

家庭・地域の活力

- 家庭との信頼関係
- 地域との交流及び人材活用
- 情報の共有化

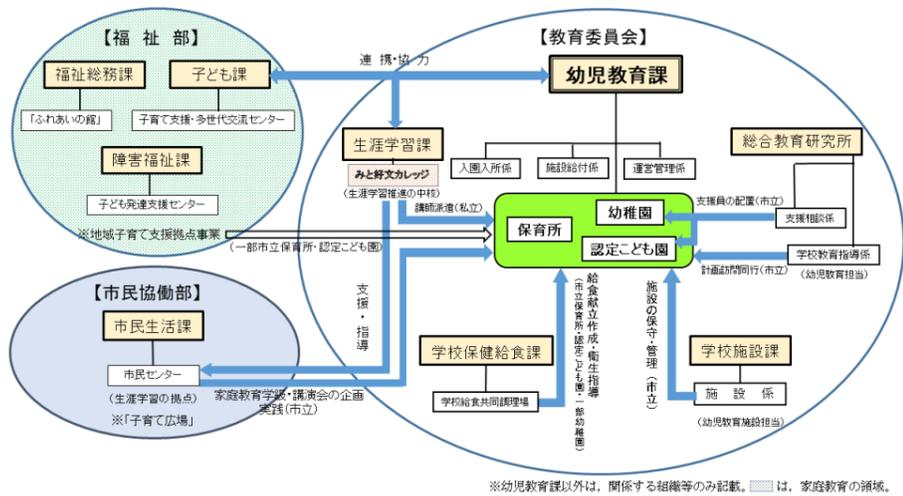
小学校への円滑な接続

- アプローチ・スタートカリキュラム
- 小学校との連携
- 生活習慣の確立
- 関係機関との連携

生活・遊びから学びへの連続性

- 多様な体験と環境構成
- 思考力の芽生え等の育成
- 主体的な活動と協同的な学び
- 社会生活における習慣や態度

【幼児教育・家庭教育に係る組織関係図】



保幼小の連携・協力

幼児教育課が保育所、幼稚園及び認定こども園を管轄して、0歳から子どもの育ちに着目しながら小学校との連携を推進し、安心して小学校生活をスタートできるようにしています。

【就学前教育及び保育カリキュラム】(げんきっ子カリキュラム)

教育・保育の基本的な考え方や姿勢を互いに理解し合い、教育の質を向上させるために、保育所・幼稚園・認定こども園共通のカリキュラムを作成し、運用しています。(令和元年度改訂)

【アプローチ・スタートカリキュラム】

このカリキュラムにより、小学校等の先生は就学前までの育ちを、保幼の先生は小学校での学びを確認できるようになっています。(令和2年度改訂)

【幼児教育と小学校教育接続のための協議会】

管理職部会は市内5ブロックに分かれて共通理解を図り、担当者部会は一堂に会して円滑な接続に向けた具体的な取組を協議し、より一層の連携に努めています。(今年度は民間も一緒に)

【保幼小交流】

市立小学校等に保幼小接続コーディネーター、幼児教育・保育施設に園内リーダーが任命されたことで、子どもたちの交流はもちろん、職員同士の交流も積極的に行われるようになりました。



幼児教育・家庭教育充実のために

指導担当の訪問

幼児教育課に配置された小学校教育や幼児教育に造詣の深い職員の訪問を通して、職員の指導力の向上を目指すとともに、施設の運営等について必要な助言を行っています。



療育指導教室

(福祉部主管)

市内の4・5歳児を対象に、保護者の希望を受け、言語や情緒等の発達に何らかの不安があると思われる幼児に対して、言語聴覚士や専門の研修を受けた職員が指導に当たっています。現在、専門施設(なかよし学級)のほか、浜田幼稚園(ひまわり学級)、常磐幼稚園(すぎの子学級)、緑岡幼稚園(たんぼぼ学級)に設置しています。

AETの派遣

市立の幼児教育・保育施設において、「英語遊び」を保育に取入れ、AETを年間30時間程度派遣しています。日常の保育活動ではもちろんのこと、「生活発表会」などの行事でも積極的に英語が使われています。



子育て支援

(子ども課主管)



市民センターなどにおける「子育て広場」や「親子教室」、さらには、地域子育て支援拠点事業として、市立及び民間の保育所内に「子育て支援センター」を設置し、子育て相談や情報提供、他の親子との交流ができるようにしています。

【その他の交流施設】 子育て支援・多世代交流センター「わんぱく・みと」、 「はみんぐぱく・みと」、ふれあいの館、図書館のおはなし会、園庭開放(各幼児教育・保育施設)など

幼児教育と小学校教育接続のための協議会

市内の幼児教育・保育施設及び小学校・義務教育学校の担当者が一堂に会し、アプローチ・スタートカリキュラムの活用や保幼小の円滑な接続に向けた具体的な取組について研修をし、より一層の連携を図っています。



家庭・地域との連携

(生涯学習課、市民センター等との連携)

【家庭教育学級の開催】

生涯学習課や地域の市民センターと協力して、望ましい家庭教育の在り方や小学校就学に当たっての心構えなどについて、講師を招へいして研修会を実施しています。

【地域スポーツ団体との連携】

「水戸ホーリーホック」や「茨城ロボッツ」の協力を得て、定期的なスポーツ教室を開催し、子どもたちの運動に対する関心や意欲を高めています。





夢・感動・笑顔がひろがる 教育のまち ひたちなか

本市の幼児教育施設・学校数

公立保育所 5 民間保育所 19 認可外保育施設複数
公立幼稚園 4 私立幼稚園 6 小学校 17
中学校 7 義務教育学校 1

《教育目標》

- ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかいます
- じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養います
- 家庭や地域と力をあわせ、豊かな心を育みます
- ふるさとを愛し協力しあう心を育てます
- 世界に視野を広げ、国際人としての自覚を高めます

《「保幼小接続」の推進体制の構築に向けて》

子どもたちの学びと育ちをつなぎ、就学後の子どもたちが、十分に自己の力を発揮していけるように、教職員が、互いの教育課程や実践を共有したり、接続カリキュラムの充実を図ったりできるような研修を実施します。

令和3年度の実施状況

【市保幼小接続管理職連絡協議会】

令和4年1月13日(木)

- ・本市の保幼小推進体制の現状について
- ・保幼小接続のためのカリキュラムについて

講師： 茨城女子短期大学副学長 助川公継先生

参加者： 幼児教育施設長 32名 学校長 18名
市福祉部職員 4名
市教育委員会職員 12名



【市保幼小接続担当者部会】

令和3年7月21日(水)・8月10日(火)

各園・各校の接続カリキュラムをもとに
情報交換・共有

参加者： 園内リーダー36名
接続コーディネーター18名



【保幼小交流～一緒に遊ぼう～】

令和3年4月～令和4年3月

市立幼稚園を中心に、小学校と幼児教育施設との交流活動の実施

参加者： 幼児 児童 教職員



【幼小交流～育ちと学びをつなごう～】

令和3年4月～令和4年1月

小学校教員が、公立幼稚園で保育参加を行い、幼児期の発達段階を踏まえた指導について研修を実施

参加者： 市内小学校教員 18名





常陸大宮市

郷土を愛し、慈しみ
郷土でも輝くことのできる人づくり



公立幼稚園 2 公立認定こども園 1 公立保育所 2 私立保育園 8 私立認定こども園 2 公立小学校 11



＜市教委による計画訪問及び特別支援教育に係る見取り訪問＞

指導主事による計画訪問では、同学区小学校の保幼小接続コーディネーターの先生等も参観して情報共有したり、職員間の交流を図ったりしています。

また、要請に応じ、特別支援教育専門の学校教育指導員が特別な配慮が必要と考えられる園児の見取りを行うため幼児施設を訪問し、効果的な関わり方や支援、小学校への引き継ぎ事項等についてアドバイスしています。

新年度前には、就学前連絡協議会として、各小学校と入学予定児がいる幼児施設において、就学に向けた情報交換や情報共有等を行っています。



例年、幼児施設及び小学校の先生方を対象に特別支援教育研修会を開催し、情報交換やグループ協議、特別支援教育専門の講師による講義等を行っています。(本年度はコロナ禍の為未実施)

なお、本市では、茨城女子短期大学保育科准教授の梶井先生が作成された「小学校入学前サポートシート」を活用している幼児施設もあります。



＜今後について＞

市内の幼児施設、小学校で活用している接続カリキュラムを持ち寄り、より円滑な接続を見据えた情報交換や研修等を行い、連携を密にしていく。



＜ALTとの交流＞

英会話学習だけでなく、日常生活においてもALTと交流し、自然に英語に触れる機会を設けています。幼児期の学びが小学校の学びにつながるようになっています。



＜幼児施設の交流会＞

公立幼稚園と公立認定こども園にて、交流会を行っています。普段と違った環境、園外の多くの友達との出会いが大きな学びとなっています。小1フーズレム等の予防にもつながっています。

家庭、地域との連携



サッカー教室

七夕飾り作り

ダイヤモンドシティ小美玉の子

みがこうダイヤの原石 2021

幼児教育の充実

- 「道徳性の芽生え」を培う体験の充実
- 園外活動の充実
- 幼児教育研修の充実

幼保小連携の推進

- 幼児教育と小学校教育との連携推進
- 幼児教育と小学校教育の円滑な接続

就学前教育の充実

目指す姿

優しさ・思いやりのある子

自主性・自立性のある子

強くたくましく生きる力のある子

小学校 8校

義務教育学校 1校

認定こども園
5園

公立幼稚園
3園

私立保育園
8園

企業主導型保育園
1園

体験の中でみがこう

いっしょにもとう。

ここにはった方がいかな。

ありがとうございます。落とさないように気をつけてね。

ぶつかり合って、どうしても折り合いがつかないときは、先生の適切な援助が!!

先生もみがくよ

円滑な接続のために

小学校との交流
主な就学先の小学校の児童と、計画的に交流活動を行いました。運動会やさまざまな遊びを通して、直接触れ合う機会になりました。

距離をとりながら、運動会を合同で行う。

校内オリエンテーリングを楽しむ。

ぶんぶんゴマの遊び方を教えてもらう。

公開保育
市の研究指定になった幼稚園で、小学校や他の幼稚園の職員に公開保育を行いました。

研修会の実施

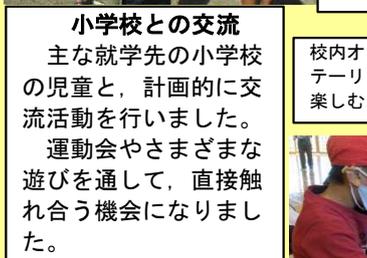
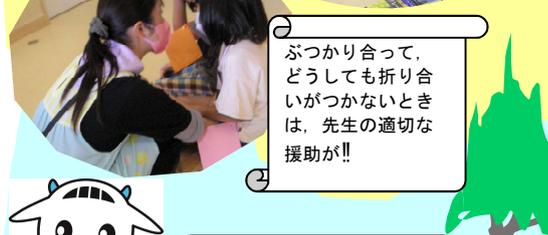
市内の公立幼稚園では、園ごとに、中央児童相談所から講師を招いて「ペアレントトレーニング体験会」を行いました。実技や練習を交えながら、子どもの特徴を理解し、効果的な対応を身につける方法を学びました。今後の支援や保護者へのアドバイスに役立つ有意義な研修でした。

家庭でもみがこう

家庭教育学級
だより発行
「家庭教育は、すべての教育の出発点」子育てに役立つ情報が入っている「あるひ」を発行し、家庭教育を支援します。



家庭教育学級の実施
講演会の講師は、園長先生。望ましい子育てやしつけ、言葉のもつ力などについての話を聞くことができました。



東海村はつなかりを大切にします



こ 幼 小 接 続 連 絡 協 議 会
 私 立 園 ・ 公 立 園 ・ 小 学 校 が
 オ ン ラ イ ン で つ な が り
 接 続 を 図 り ま し た

仲間とつながる

こども園・保育所・幼稚園
 小学校・中学校…私立も公立も
 つながり合って学んでいく



保護者・地域とつながる

子育て支援で
 保護者と地域とつながる
 いっしょに遊んだり
 ときには悩みを共有したり



小学校とつながる

幼児と児童がオンラインで交流
 保育者と学校の先生も
 コロナ禍でも接続をとめない
 つながる工夫



ICTでつながる

YouTubeや
 動画配信でつながる
 日常の子どもたちの様子や
 家庭でもたのしめる動画が沢山



東海村公式YouTube



ここからCheck

東海村はコロナ禍でも
つなかりを大切にします

保育者同士のつながりを
 家庭や地域とのつながりを
 小学校とのつながりを

子育て支援最前線の大字町

～学びをつなぐ保幼小連携の取り組み～

この町
いいね！

大字町は、「日本一幸せな町づくり」を目指しています！
保幼小連携も日本一を目指し、子どもたちへの学びとつなげます



大字町の教育目標

- ・個性と生きがいを
育む教育
- ・豊かな自然を愛し
心のふれ合う教育

大字町 子育て支援政策

- ・0歳児から高校生相当
まで医療費無料
- ・保育所(園)・幼稚園授
業料が無料
- ・小中学校の教材を無料
配布
- ・学校給食費無料
- ・英検試験費用の助成
- ・中学校部活動費を助成

大字町の幼児教育施設・小学校

- 〈公立幼稚園〉
大字幼稚園
- 〈公立保育所〉
頃藤保育所, 西保育所, 小生瀬保育所
- 〈私立保育園〉
だいが保育園, 池田保育園
- 〈小学校〉
だいが小学校, 依上小学校,
袋田小学校, さはら小学校,
上小川小学校, 生瀬小学校

保幼小連携の取り組み

町独自の保幼小接続カリキュラムを作成し、小学校入学後にスムーズに学校生活を送れるようにしています。また、アプローチプログラムにより、園児たちが小学校を意識した生活を送れるようにしています。

- ・学びに向かう力
- ・生活上の自立
- ・心の成長

1 接続カリキュラム

幼児教育施設の先生方と小学校の先生方が定期的に集まって、研修を行っています。

- ・特別支援コーディネーター研修会
(年3回)
- ・保幼小連携に係る研修会(年2回)

2 合同研修会の実施

幼児教育施設と小学校の先生方が、お互いに保育や学習の様子を参観したり、定期的に交流会を実施しています。

- ・小学校計画訪問時の相互参観
- ・小学校の先生による保育体験
- ・職員間の定期的な情報交流

3 先生方による相互参観などの交流

園児と小学生が様々な機会に交流活動を行っています。

- ・給食交流
- ・行事における交流
- ・小学生による訪問
- ・昔遊びの実施

4 子供たちの交流活動

子育て一番北茨城



《市の概要》

昭和31年に県下15番目の市として誕生した北茨城市は、茨城県の最北端に位置し、南は高萩市、北は福島県いわき市と接しています。また、市の総面積の約80%は山林で、東部は低地で海岸に面し、市内を流れる大北川、花園川、里根川などの流域には、豊かな平坦地が開けています。古くから農業や漁業を中心に栄えましたが、江戸後期に石炭が発見され、常磐炭田の中核として活況を呈し、今日では、工業地帯として飛躍的な発展を見せています。また、平潟・大津・磯原地区では、温泉・鉱泉が湧き出し、民宿・旅館が立ち並ぶ名所となっています。

公立保育所 1

私立保育所 2

私立保育所型認定こども園 2

私立幼稚園型認定こども園 4

小学校 11

《幼児期に育ってほしい子どもの姿》

- ① 健康な心と体で豊かに遊ぶ子ども
- ② 自分のことは自分で行おうとする子ども
- ③ 早寝早起き朝ごはんなどの生活習慣を身に付け、あいさつのできる子ども
- ④ 自然と触れ合い、命を大切にできる子ども

「茨城県就学前教育・家庭教育推進アクションプランより」

- ⑤ 自分や家族を大切にしながら他者を思いやるとともに、約束やルールを守ろうとする子ども
- ⑥ 生活や遊びを通じた物事(物の性質や数量, 図形, 文字, 標識等)への関心・感覚をもつ子ども
- ⑦ 豊かな感性とそれを表現できる言葉などをもち、自分の考えや思いを様々な方法で伝えようとする子ども

教育委員会

- 教育課程の充実(アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムとの接続等)
- 環境構成の工夫(豊かな感性, 好奇心, 思考力, 表現力の基礎を育む環境構成等)
- 家庭・地域との連携(幼稚園・保育園と小学校, 家庭, 地域との積極的な連携)
- 幼児教育アドバイザーの活用
- 幼児教育相談室の活用

社会福祉協議会

- 中郷子どもの家
- ファミリーサポートセンター
- 事業(子育てサポーターが保護者に代わって保育所への送迎を行います)

行政・保幼小・家庭・地域が一体となった保幼小連携教育の推進

健康づくり支援課

- 早期療育相談システム等
子の状態に応じて、専門的な発達相談や訓練を行い、就学までの成長を支援します。

子育て支援課

- 地域子育て支援センター
- 休日保育・病後児保育一時預かり
- 放課後児童クラブ等

北茨城市の今までの取組

幼児教育と小学校教育の接続のための研修会

園内リーダーと小学校のコーディネーターが円滑な連携・接続の在り方について議論しました。(R元)



子どもの家を活用した職員研修

「中郷子どもの家」のイベントに近隣の小学校の職員が参加し、幼児保育の様子を参観しました。その後の研修では、幼児期の育ちと学びに意見交換をしました。(R元)

アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの作成・活用

スタートカリキュラム 第1選		【令和2年度 アプローチカリキュラム】	
学年	内容	【縦断(一貫)】	【横断(一貫)】
1	「あそびのあそび」 「あそびのあそび」 「あそびのあそび」	「あそびのあそび」 「あそびのあそび」 「あそびのあそび」	「あそびのあそび」 「あそびのあそび」 「あそびのあそび」
2	「あそびのあそび」 「あそびのあそび」 「あそびのあそび」	「あそびのあそび」 「あそびのあそび」 「あそびのあそび」	「あそびのあそび」 「あそびのあそび」 「あそびのあそび」
3	「あそびのあそび」 「あそびのあそび」 「あそびのあそび」	「あそびのあそび」 「あそびのあそび」 「あそびのあそび」	「あそびのあそび」 「あそびのあそび」 「あそびのあそび」
4	「あそびのあそび」 「あそびのあそび」 「あそびのあそび」	「あそびのあそび」 「あそびのあそび」 「あそびのあそび」	「あそびのあそび」 「あそびのあそび」 「あそびのあそび」

「円滑な連携・接続のための様々な取組」

- ▷ 職員研修会・保幼小連携に係る連携協議会
- ▷ アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの作成と活用
- ▷ 小学校入学前サポートシートの活用
- ▷ 保・幼・小間の交流活動



中学校区内に「保幼小連携に係る連絡協議会」の組織体制が整備され、日時と場所等簡単な打ち合わせで校外での交流活動を実施しました。(R3)

保幼小連携の交流活動



市内の幼稚園において、保育の様子を、市内外の小学校教員を対象として公開しています。今年度は、保幼小で感染症対策を共有し、短時間ながらも子ども達の交流活動を行いました。(R3)

小学校入学前サポートシート(保護者用)の活用

保幼小間の円滑な引き継ぎのために、昨年度から活用しています。新入学児についての保護者からの情報を、円滑に小学校に引き継ぎ、入学後の支援に生かすことができました。本年度も引き続き実施します。(本シートは、茨城女子短期大学准教授梶井正紀先生が作成したものです。)



接続の質の向上

- **アプローチ・スタートカリキュラム検討委員会の実施** (年2回)
 - ・市内幼児教育施設 (20園) 小学校教職員 (12校) 参加
 - ・保幼小接続アドバイザーとして福田洋子先生来市
- **保幼の連携 (毎月)**
 - ・公立保育園長会、副園長主任会
- **就学時健康診断でのアプローチ・スタートカリキュラムリーフレット配付および啓発**
- **特別支援巡回相談**
 - ・幼児教育アドバイザー、就学相談員と共に市内各園を訪問し保育参観と相談。
 - ★教育相談は随時



家庭教育力の向上

- **家庭教育力向上推進協議会の実施 (R1)**
- **保護者や市民・教員を対象とした講演会等の実施 (R1)**
 - ・子育て講演会
 - ・メディア講習会
 - ・家庭教育を考える集い
- **訪問型家庭教育支援 (R1)**



地域が育て 地域で育ち 地域を創る 鹿嶋っ子



幼児教育の質の向上

- **公立保幼教職員研修 (7月)**
 - ・大学教授を招聘しての管理職研修
- **公立保幼管理職研修 (毎月)**
 - ・園長、副園長、主任対象
- **公立幼稚園・認定こども園計画訪問 (1学期)**
 - ・保育参観と研修会
- **公立保幼初任者等研修 (年4回)**
 - ・保幼初任者等6名が参加し、実務研修と保育参観の実施



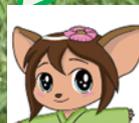
<公立保幼管理職研修>



<公立保幼初任者研修>

令和3年度 幼児教育の質の向上・保幼小接続の推進体制構築

市内の幼児教育施設**20園** (公立幼稚園**4園**・保育園**3園**・認定こども園**1園**、私立保育園**6園**・認定こども園**6園**)、公立小学校**12校**、教育指導課・幼児教育課・社会教育課・教育センターとの連携を図り推進しています。



鹿嶋市公認キャラクター
ナスカちゃん



鹿嶋市
教育委員会

創造性 協働性
主体性

市幼児教育
アドバイザー・各校
の特別支援担当者
による各園訪問

巡回相談

- ・年間行事予定・指導計画の共有
- ・目指す姿の共有
- ・相互理解のための研修

市からの提案

- ・手紙やはがき
- ・電話で情報交換
- ・園児の校庭散策

コロナ禍での交流・体験

小学校教育

- ・相互参観・協議
- ・交流の計画・実施
- ・ICTでの相互参観

保幼小研修の充実

接続カリキュラムの
作成・活用による
主体性・協働性・
創造性の発揮

接続カリキュラム活用

幼児教育

- ・情報共有の推進
- ・園内研修時間確保
- ・保育教諭・保育士の
共通理解の推進

幼児施設内の研修

潮来市

保幼小 接続の取組 2021



豊かな人間性と創造性を備えた未来につなげるひとづくり



CHILDREN **F**IRST
CHANGE
CHALLENGE

子どもファースト 変化への対応とあくなき挑戦

幼児教育施設	29校
小学校	14校
中学校	8校
高等学校	3校

保幼小中の取組

- ・幼小接続に係る研修会
- ・新1年生の保護者対象 「子育て講座」
- ・サポートブックの活用（就労まで）
- ・保幼小連絡協議会
- ・保幼小地震津波合同避難訓練
- ・小学校栄養教諭による幼児への食育教育
- ・特別支援教育連携協議会、研修会の開催
- ・アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの活用
- ・神栖市のキャリア教育「NEXT10 ～10年間学ぶ意欲を持続させるために～」
- ・特別支援教育相談員による幼児・児童・生徒の保護者へのサポート
- ・幼児教育アドバイザーによる幼稚園・保育所・認定こども園への乳幼児教育のサポート
- ・幼児の相談教室 「おはなしひろば」
 - 幼児教育相談員による個別相談や園所訪問、就学へのサポート
 - 言語聴覚士による言語訓練



幼児教育

- ・相互保育参観、授業参観
- ・小学校教諭の保育体験



神栖市の取組

子育て世代包括支援センター

保健師と子育てコンシェルジュによる妊娠期から子育て期に渡る切れ目ない相談と支援

健康増進課

4ヶ月、1歳半、3歳児健診を実施。 発達についての相談

こども福祉課

子育てカウンセラーによる相談

障がい福祉課

療育相談「つくしんぼ」「なのはな」 ・ 放課後等デイサービス

社会福祉協議会

ことばと発達の相談室（言語聴覚士による言語訓練） など

教育指導課

幼児の相談教室「おはなしひろば」



幼児期の自発的な遊びの中で育まれた、やり抜く力や協調性などの「非認知的能力」が小学校以降の学びにつながります。幼児教育施設職員と小学校職員が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「非認知的能力の育成」を共有して子どもたちの「育ちと学び」をつなぎ、子どもたちの力が十分に発揮できるようにする接続に取り組んでいます。

行方市教育プラン

- 行方市学校教育プランの実現に向けて、「学力向上」「いじめ、長欠・不登校対策」「特別支援教育」「幼児教育」を主な取組とし魅力ある教育を推進することにより、ともに学び、ともに育ち、心豊かでたくましい子どもを育成する。

行方市の幼児教育の取組

- ◆幼児期からの非認知的能力の育成
- ◆教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントの実施
- ◆接続カリキュラム（アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム）の教育課程への位置づけ、実施と見直し
- ◆「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）の育成・見とりと援助・小学校との共有
- ◆「遊び」は幼児にとつての貴重な「学習」であることへの理解
- ◆幼児の遊びを中心に幼児の主体性を大切に指導



5歳児健康相談会場で講話
「睡眠の重要性」【図2】

教育内容の充実

- 評価からの保育改善
- 行方市幼児教育研究協議会【図1】
(会場：麻生幼稚園)
11月：公開保育・協議
講師：笠間市立大原小学校長
「いま求められている評価
～自分のよさに気づく評価～」



行方市幼児教育研究協議会【図1】
『遊びの充実を図り、幼児の主体性を育むための環境構成について』

子どもの育ちをつなぐための支援体制

- 専門機関との連携・情報共有
- 5歳児健康相談（健康増進課との連携）【図2】
- 就学に向けて等の相談対応
- 就園相談（教育委員会）
- 市特別支援教育支援員の活用
- 幼児教育施設の巡回訪問（観察・相談・助言）
(心理士・作業療法士)
- 教育支援センターポプラ（相談）

私立保育園（4園）	・子どもの家菫の苑・玉造第一保育園・玉造第二保育園・玉造第三保育園
私立認定こども園（4園）	・麻生こども園・北浦こども園・龍翔寺こども園・認定こども園のぞみ
公立幼稚園（3園）	・麻生幼稚園・北浦幼稚園・玉造幼稚園

交流
連携・接続

市立小学校（4校）

- ・麻生小学校・北浦小学校
・麻生東小学校・玉造小学校

市立中学校（3校）

- ・麻生中学校
・北浦中学校
・玉造中学校

子どもの育ちをつなげよう

職員の質の向上を目指して

- 公立幼稚園・小学校の計画訪問（6～7月）【図3】
- 行方市特別支援教育研修会並びに情報交換会（8月）
- 幼児教育施設職員等合同研修会「非認知能力を育てる」（11月）【図4】

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿（可視化）【図8】

育ちと学びの理解と接続

- 幼児と児童の交流【図5】
- 教職員の相互参観・体験型交流からの学び【図6】【図7】
- 教職員同士の情報共有及び連携会議
- 行方市保幼小連携・接続研修会
- 保幼小連携・小中一貫教育推進協議会

小学校養護教諭【図6】
幼稚園での歯磨き指導

家庭教育の推進と連携

- 保護者参加型の研修会
- 家庭への教育内容の伝達【図8】
- 講話：基本的生活習慣の重要性について『睡眠の重要性』『非認知能力を育てる』【図4】

計画訪問：協議【図3】

手紙での幼小交流【図5】

小学校教職員の保育体験【図7】

講師：お茶の水女子大学教授
『非認知能力を育てる』【図4】



銚田市

夢と希望をもち、未来を拓く心豊かな人づくり

公立保育所 2

私立保育園 6

公立幼稚園 4

小学校 10

東の鹿島灘に沿って位置する銚田市は、北は潟沼、南は北浦に接し、水と緑に囲まれた自然豊かな市です。自然環境や地域の特色を生かした体験活動をととして、銚田市の魅力やよさが理解できる園児・児童・生徒の育成に努めています。

学校段階等間の接続

☆相互参観・交流活動

公開授業等を利用した授業参観や保育実習が計画されています。

特別支援学級の授業の様子や幼稚園の給食配膳の様子を参観するなど、相互理解が深まりました。（今年度は一部の園、学校間で実施 リモートによる交流も計画されています）

☆幼小中の連携

中学校区において幼小中の職員による合同研修会が開催されました。

例年、幼稚園の運動会に中学生が参加するなど、縦のつながりを意識した連携が図られています。（今年度は未実施）



関係機関との連携

発達の気になる幼児について、保健師、生徒指導相談員が連携して、幼児教育施設に訪問し共通理解を図っています。今年度は、健康増進課の保健師や栄養士による保育園での「保健指導」や「食育」の様子を参観しました。幼児教育で育む「健康な心と体」への理解を深めることができました。



接続のための研修会

「幼児期と学童期の発達を考慮した保幼小の連携のあり方」をテーマに、県教育庁生涯学習課指導主事 中庭先生から、保育・指導要録をととして育ちをつなぐことの大切さや、交流活動における話合いの視点、スタートカリキュラムの実践・改善等について具体的に御講話いただきました。また、保幼小の先生同士で接続期における課題等について共有し、情報交換を行いました。



家庭教育支援

☆家庭教育学級

各学級年間6時間以上、または講座を3回以上、必ず講話型かサロン型の学習を実施しています。

☆5歳児健診

子育てアドバイスブック「ひよこ」を活用し、家庭教育の大切さを伝えていきます。基本的な生活習慣を身につけることや、自分を好きになる気持ちを育むことができるように、親子で体験する機会を設けています。

入学時に見られる課題の共有

よりよい関わりや指導の共有

全体での共有（相互理解）

目指す園児・児童・生徒の姿

- ・マナーを守って、進んであいさつする子
- ・常になかよく、助け合える子
- ・自分の夢をもち、実現に向けて努力する子
- ・銚田の自然に関心をもって親しみ、そのすばらしさを理解して進んで関わる子
- ・向上心をもち、課題を解決するために主体的に取り組む子
- ・働くことを惜しまず、与えられたことに責任をもって取り組む子
- ・本が好きで、進んで読書をする子





つなげよう！子どもの育ちと学び

～キーワードは3つの力～

《互恵性を求めた連携段階・接続カリキュラム試行段階》

○保幼小連携の充実，互恵性のある連携活動の実施

- ・ 幼児・児童の双方にメリットがあり，互恵性のある連携活動を進めていくために，教師間での事前打ち合わせ・振り返り等を行う。（コロナ禍の交流や情報交換を工夫する）
- ・ 土浦市保幼小接続カリキュラムを試行する。（自園・自校のカリキュラムを作成する）

○幼児教育アドバイザーによる支援の実施

令和3年度は
第3ステップ
です！



具体的な取り組み

特色を生かした自園・自校のカリキュラム作成

アプローチカリキュラム

10の姿	領域	時期	7月～10月
生活する力	1 健康な心身	健康を維持し、自らを大切に育てる。	健康を維持し、自らを大切に育てる。
	2 生活リズム	生活リズムを整え、健康な心身を育てる。	生活リズムを整え、健康な心身を育てる。
学ぶ力	3 基礎的な知識・技能	基礎的な知識・技能を身に付け、学びの意欲を高める。	基礎的な知識・技能を身に付け、学びの意欲を高める。
	4 基礎的な思考力	基礎的な思考力を身に付け、問題解決能力を高める。	基礎的な思考力を身に付け、問題解決能力を高める。
かかわる力	5 社会性	社会性を身に付け、人と関わり合う力を育てる。	社会性を身に付け、人と関わり合う力を育てる。
	6 表現力	表現力を身に付け、自分の気持ちを伝える力を育てる。	表現力を身に付け、自分の気持ちを伝える力を育てる。
家庭との連携	家庭との連携	家庭との連携	家庭との連携
活動例	活動例	活動例	活動例
小学校との連携	小学校との連携	小学校との連携	小学校との連携

スタートカリキュラム

第1週の日目標	1日目	2日目	3日目	5日目
1	生活する力 ★ 先週に比べて生活リズムを整え、健康な心身を育てる。	学ぶ力 ★ 基礎的な知識・技能を身に付け、学びの意欲を高める。	生活する力 ★ 先週に比べて生活リズムを整え、健康な心身を育てる。	学ぶ力 ★ 基礎的な知識・技能を身に付け、学びの意欲を高める。
2	学ぶ力 ★ 基礎的な知識・技能を身に付け、学びの意欲を高める。	生活する力 ★ 先週に比べて生活リズムを整え、健康な心身を育てる。	学ぶ力 ★ 基礎的な知識・技能を身に付け、学びの意欲を高める。	生活する力 ★ 先週に比べて生活リズムを整え、健康な心身を育てる。
3	生活する力 ★ 先週に比べて生活リズムを整え、健康な心身を育てる。	学ぶ力 ★ 基礎的な知識・技能を身に付け、学びの意欲を高める。	生活する力 ★ 先週に比べて生活リズムを整え、健康な心身を育てる。	学ぶ力 ★ 基礎的な知識・技能を身に付け、学びの意欲を高める。
下校	午後で下校を完了し、保護者と一緒の下校する。子育て支援を利用する児童がいるので、連絡帳などで家庭との連携を図り、下校後の様子を確認する。			
生活する力(★)	自分のものの整理整頓の仕方を覚える。			
学ぶ力(★)	話の聞き方を学び、先生の話を興味をもって聞けるようになる。			
かかわる力(★)	歌や歌の歌やゲームを通して、友達と一緒に生活する楽しさを味わう。			

キーワード

**[生活する力]
[学ぶ力]
[かかわる力]
3つの力でつなげます。**

つちうら保幼小接続カリキュラムを参考に作成しました。

保幼小接続推進のための合同研修会(オンライン)

「保幼小連携をいかにすすめていくか」講師を迎えて研修会を行いました。

受講者の感想の一例を紹介します。

【幼児教育施設】

- ・ 「10の姿」をもとに育ちの把握をし，小学校へ申し送りができるようにしたい。
- ・ 生活科の教科書を見て，どのように発展していくのか参考にしてみようと思う。

【小学校】

- ・ 幼児教育施設と小学校の違いがよくわかった。
- ・ 連携について小学校からの声かけにぜひ努めたいと思う。

就学前教育推進員による幼児教育施設・小学校訪問

訪問の主な内容

【幼児教育施設】

- ・ アプローチカリキュラム作成への助言等

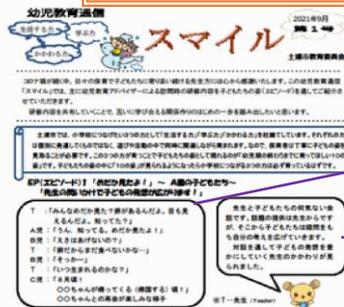
【小学校】

- ・ 低学年の授業参観と接続コーディネーターとの話し合い(スタートカリキュラムの実施状況保幼小連携の進捗状況など)

幼児教育アドバイザーによる幼児教育施設訪問

保育参観
園内研修の参加

幼児教育通信「スマイル」発行



訪問園の子どもたちの

保育者の支援の考察

「10の姿」から捉えた子どもたちの育ち

訪問園での研修内容を市内の幼児教育施設や小学校の先生たちと共有します。

家庭教育支援

乳幼児期親力アップ講座

オンラインで子育てに関する講座を4回実施

学童期親力アップ講座

就学時健康診断時等に，入学前の家庭教育について講話を実施
学校によってはオンラインで実施

家庭教育通信「いとでんわ」発行



テーマは「子どもの将来の夢」「ネットスマホ問題」など

小中保護者向けですが幼児教育施設にも配布します。

幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目指して



龍ヶ崎市

一人一人の夢や希望を育み、
生きる力が身につく教育の推進

幼児と児童の交流



児童手作りの
プレゼント

コロナ禍で対面の交流はできませんでしたが、園児に向けて学校の様子を動画で作成し、手紙を添えてメッセージやプレゼントを贈りました。

家庭教育の充実



☆子育てふれあいセミナーの開催

「学校と家庭が連携した食育の推進」

龍ヶ崎市立龍ヶ崎小学校 中井晴香栄養教諭

「親子で育む問題解決力と自己肯定感」

親業訓練シニアインストラクター 富澤優江先生

☆就学児健康診断では、保護者に向けて家庭教育指導員による講話を実施(子育てガイドブック活用)

保幼小接続カリキュラム

龍の子
保幼小接続カリキュラム
～幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて～

令和4年3月
龍ヶ崎市教育委員会指導課

<p>1人1人の夢や希望を育み、生きる力が身につく教育の推進</p> <p>「夢」をもち「生きる力」を自らはぐくむ児童の子</p>	<p>中学校</p> <p>関わる力 困難な状況に臨機応変に対応する力</p> <p>身につめる力 自分の力で課題を解決し、主体的に行動する力</p> <p>解決する力 自ら課題を解決する力</p> <p>生き抜く力 目標をもち、努力する力</p>
<p>龍の子づくり学習 「ゆめ学習」(キャリア教育)</p>	
<p>幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿</p> <p>幼児教育施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 信頼関係の構築 ② 社会性関心の醸成 ③ 自己肯定感の醸成 ④ 主体的な学び ⑤ 表現力・創造力の育成 ⑥ 生活習慣の確立 ⑦ 健康な心身の育成 ⑧ 自然との関わり ⑨ 伝統文化の継承 ⑩ 地域社会との関わり 	<p>小学校</p> <p>豊かな心を育む家庭教育</p>

9月の保幼小接続研修会(オンライン)では、保幼小のスムーズな連携に向けて、スタートカリキュラムや接続カリキュラムの見直しや検討を行い、小学校と幼児教育施設の目指す子どもの姿の共有を図りました。

保幼小連絡情報交換会



2020年1月29日実施

例年1月には、市内全ての幼児教育施設と小学校から先生方が集まり、就学児一人一人の成長の様子について情報交換を行っています。今年度は、コロナ禍により引継ぎ資料を活用した情報交換を行いました。特別な支援を要する就学児に関しては、合理的配慮を入れた「個別の教育支援計画」で引継いでいきます。

公立保育所1園, 私立保育園6園, 私立幼稚園4園, 私立認定こども園6園, 小学校11校

～夢をもち、自分のよさを知って、主体的に人やものにかかわることのできる幼児・児童の育成を目指して～



保幼小接続のあゆみ2021 取手市



オンラインによる「取手市保幼小連絡協議会！！」



第1回 オンライン協議会
(ZOOMによる開催)
令和3年7月20日
15:00～16:30

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため開催できなかった「取手市保幼小連絡協議会」ですが、開催方法をオンラインとして、市内14小学校と27箇所の幼児教育施設・保育施設の先生方の交流が実現しました。



＜小学校の先生方より＞

- 子供たちが、入学の際に感じる「段差」を必要最小限にしていく必要がある。
- 「段差」を最小限にするために、実際に園生活のようすを参観させていただくことが大切である。
- 小学校のスタートカリキュラムを作成する際に、幼稚園や保育所での学びを取り入れることが必要。(具体例：よく歌っていた歌を歌う/読み聞かせで読んだお話を入れる/経験した遊びを入れる 等)

子供の感じる「段差」を減らしたい

＜幼児教育施設・保育施設の先生方より＞

- 小学校、幼稚園、保育所(園)の目指すものが、具体的に分かって理解が深まった。
- 小学校と幼児教育施設がもっと距離を縮めて情報交換することが大切である。
- 文書だけの引き継ぎではなく、実際に会って情報を伝えることが、スムーズな学校生活につながる。
- 小学校の練習の場としてではなく、幼児教育で大事にしていることを改めて大切にしていきたい。

段差を減らすために・・・

これまで、小学校毎に定めていた引継ぎ資料様式について全体で協議し、市内で統一しました。

【立案のポイント】

- ①様々な場面での子供の実態が把握できるか。
- ②幼児教育施設の先生が作成しやすいものになっているか。
- ③小学校側が一目で活用しやすい項目が網羅されているか。

※このシートはあくまでも「資料」であり、大切なことは、直接伝え合うことが大切だということを確認し合いました。

市内統一！「保幼小接続シート」が完成しました！

令和3年度 取手市立小学校 新入学児童学級編制資料		取手市立 小学校	
幼児教育施設名【		】記入責任者職氏名【	
組	性別	幼児教育施設名	性
A	男	取手 太郎	男
B	女	花子	女

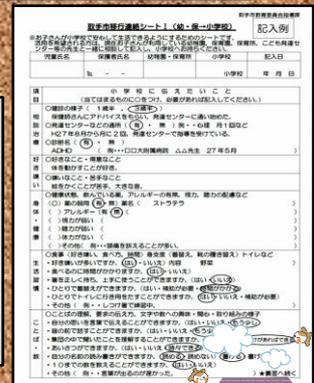
就学時健康診断における「学習障害(発達性ディスレクシア)」に関するスクリーニング検査の状況を新年度の学級編制に活かせるようにしました。

令和2年度より就学時健康診断の際に導入した「ひらがな10文字読み検査」の状況を、学級編制に活かすことにより、支援が必要な児童の人数がいずれかの学級に偏ることなく、それぞれの学級で個に応じた学習支援をより実現しやすくなりました。今年度より、「発音」に関するスクリーニング検査も導入しました。

段差を減らすために・・・

「取手市相談記録ファイル」の活用を周知しました！

「取手市相談記録ファイル」は、「誕生から就労まで切れ目のない支援」を目的として、取手市特別支援サポート会議で独自に開発、作成されたものです。保健センターやこども発達センター等で、ファイルの作成について周知し、作成がスタートします。小学校の入学説明会でも周知しました。中身には「これまでの健診、医療、療育等の記録」から始まり、小学校、中学校入学の際には「移行連絡シート」を作成し、学校と保護者の面談の資料とします。入学後は「個別の指導計画」を蓄積していきます。



取手市訪問型家庭教育支援事業

家庭教育

家庭教育講演会

取手市では、小学校1年生のいる家庭に、市の「訪問型家庭教育支援チーム員」が訪問してお子さんのようすや子育ての悩み等、相談に応じています。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のために、対面のほか、電話、オンラインによる相談体制も整え、相談に応じました。今後も関係機関と連携し、保護者のサポートを継続していきます。

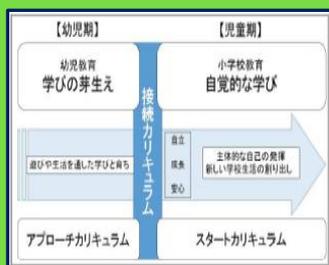
令和3年11月11日に、取手グリーンスポーツセンター研修室にて、取手市教育総合支援センターのスクールカウンセラー・スーパーバイザーによる講演会を実施しました。市内57名の保護者の方が参加し、「脳科学を活かした子どもへの対応」をテーマに、脳科学から子育てに必要なことを学びました。太陽の光を浴びることが人間の成長に欠かせないということを改めて確認し合いました。

夢に向かってよりよい未来をひらく つくばの「学び」の実現



重点目標

- ◆多様な経験につながる豊かな遊びの推進
- ◆学びに向かう力（体力・運動能力、認知スキル、好奇心、協調性、忍耐力、自己抑制・自己主張等）を育む幼児教育
- ◆幼児教育から小学校教育へのスムーズな移行の推進
- ◆幼稚園・家庭・地域の連携による教育力の向上



幼児期から児童期への
接続カリキュラム

接続カリキュラムの 作成及び実践

幼児教育施設

アプローチカリキュラムの作成

小学校・義務教育学校
スタートカリキュラムの作成

幼児と児童生徒の交 流活動

生活科、技術・家庭科、
つくばスタイル科等の
授業における交流

：就学への安心感

：交流により
自己の成長を自覚



幼児と小学生児童との
交流の様子



接続カリキュラムの検
討や情報交換

保育者と教員の連携 交流

連携・接続のための研
修を実施（H28～）

対象

幼児教育施設の保育者
小学校・義務教育学校
の教員

家庭教育の支援

生涯学習推進課

教育講演会の実施

特別支援教育推進室

特別な配慮を要する幼
児の就学相談



保護者や地域住民を対
象とした教育講演会

教育課程検討

今年度の取組

R3 幼児教育と小学校教育の連携・
接続のための研修会（オンライン）

公立幼稚園での3歳児受入れを開始するための 「3年保育プロジェクト」チームによる検討

- ・年6回実施
- ・当該幼稚園の教育目標と実態把握
- ・幼児の育ちの共有と育てたい側面の洗い出し
- ・育てほしい姿の明確化
- ・教育課程とつくば市教育大綱とのすり合わせ
- ・3歳児保育の実技研修
- ・保育所見学・体験
- ・環境づくりについての研修

講話
「幼児教育と小学校教育の
円滑な接続について」
協議
「保幼小接続カリキュラム
について」



幼稚園への計画訪問指導における指導・助言

新型コロナウイルス感染症対策下での 幼保小連携の工夫について

- ・VTRや手紙などによる交流
- ・保育者や小学校教職員による研修や交流
- ・接続カリキュラムの検討会
- ・特別な配慮を要する幼児・保護者に対する支援方法についての研修

令和3年度 利根町の幼児教育の質の向上・保幼小接続の推進体制構築に向けた実践

～利根町の保育園・幼稚園と小学校のスムーズな接続を目指して～



令和4年3月1日
利根町教育委員会
指導課 作成

保幼小連絡会参加機関

利根二葉幼稚園・利根大和幼稚園・布川保育園・文間保育園・東文間保育園
文間小学校・文小学校・布川小学校・町保健福祉センター・教育委員会 指導課

年度初めの見通しを

第1回 利根町保幼小連絡会議（管理職部会）

- 実施日：令和3年5月28日（金）
- 実施場所：利根町役場4階（4-A会議室）



●実施内容
令和3年度の主な取組を利根町の幼保小の管理職の先生方と確認しました。「令和2年度の振り返り」「令和3年度の予定や今後の保幼小連絡会議の方向性」について、年度当初の確認や情報共有を行いました。

令和3年度 小学校訪問を実施

第2回 利根町保幼小連絡会議（保幼小の教員が参加）

- 実施日：令和3年7月9日（金）
- 実施場所：利根町立布川小学校

●授業参観

- ① 学年・教科等：布川小学校 1年生 生活科 授業参観をしました。
- ② 授業の内容：アサガオの成長をタブレットで撮影し、撮影した写真を活用して、観察記録をタブレットで作成していく学習内容です。



布川小 授業参観のようす

●連絡会議での協議内容

授業参観後、参加した教員で、授業についての情報交換を行いました。その後、スタートカリキュラムの改善に向けた話し合いを行いました。詳細は、下記の通りです。

① 生活科の授業を参観して

主に幼稚園・保育園の取組との共通点について協議しました。（タブレット活用が小学1年生で行われていることに、保育園・幼稚園の参観された先生方は関心を示し、小学校でのICT機器の活用についての研修を深めることができました。）

② スタートカリキュラムの改善に向けて

各小学校の入学式から1週間のスタートカリキュラムを活用した取組の報告がありました。また、それぞれの園や学校での取組や情報交換を行いました。

令和3年度幼児教育施設訪問

第3回 利根町保幼小連絡会議（保幼小の教員が参加）

- 実施日：令和3年10月26日（火）
- 実施場所：文間保育園

●保育参観

- ① クラス等：文間保育園 5歳児 保育参観
- ② 保育の内容：子どもたちが事前に集めた自然物を使い、いろいろな形を創造し表現する活動する内容です。

●連絡会議での協議内容

① 保育参観を通して

主に小学校と幼稚園・保育園の取組との共通点について協議しました。（一人一人がイメージを膨らませ、身近な自然物を活用した作品を作り上げる姿に、小学校の先生方は、連携の必要性を感じる事ができました。）

② スタートカリキュラムの改善に向けて

入学後すぐの子供たちの様子や課題について、情報交換を行いました。幼稚園や保育園の取組を生かした入学からの1週間の時間割や学級活動の工夫について話し合いました。



文間保育園のようす

スタートカリキュラムの改善に向けて

●第2回・第3回の利根町保幼小連絡会議を実施し、スタートカリキュラムの改善に向けて協議を行いました。

- ・週ごとに目標を立てること
- ・友達と人間関係づくりに向け、「紹介ゲーム」などを取り入れていくこと
- ・子供たちの集中力を考慮し、入学直後は15分ごとのカリキュラムの作成していくこと



各小学校の次年度の**スタートカリキュラム**に取り入れていきます。

今後も**利根町保幼小連絡会議**を継続して実施し、保幼小の**スムーズな接続**を図っていきます。

子どもたちのために保幼小を「結」ぶ

結城
YUKI CITY

【交流の様子】

- ・ 保育所、幼稚園の職員が小学1、2年生の授業を参観した。
- ・ 生活科の単元「もうすぐ2年生」の時間に、新1年生に向けプレゼント用のメダルを作成した。感染状況が落ち着いたら、近隣の保育園に児童が届ける予定である。
- ・ 保育所職員と園児が小学校で交流会を行った。また、児童が小学校を案内したり、タブレットを使いながら、学校生活について説明をした。
- ・ 小学校の学習の様子として、ひらがなの書き方を教えた。



結城市教育の基本目標
未来を担う子どもと生き生きした
市民を育む地域を目指そう



<家庭教育支援の取組>

- ・ 就学児健康診断での家庭教育に関する講話を実施。
- ・ R3年度新規事業として、結城市訪問型家庭教育支援事業スタート。
- ・ 青少年育成結城市民会議イベントでの子育てアドバイスブックの紹介。

『夢をいただき 未来を創る ほっとな絆の 常総教育』

【7ブロックや学区での連携】 ※本年度も自粛により殆どが見送り又は中止

- 小学校授業参観への招待（4月）
- 小学校における参観・協議等の開催（6月）
（学区内幼児教育施設の参加）
- 幼児教育施設における参観・協議等の開催（8月）
（就学先小学校職員の参加）
- 幼児児童の交流
- ※R3 は一部の学校においてオンラインや動画での交流や行事見学程度の交流を、感染症予防対策を行い実施。
- 各幼児施設との引継ぎ（2～3月）



【保幼小接続のための合同研修会】

- 市内小学校の保幼小接続コーディネーター及び幼児教育施設の指導担当者
- 指導力向上のための合同研修
 - 意見交流・情報共有
- 指導力向上と連携の足場作りを図ります。
※R 2, 3年度は未実施



【公立幼稚園が2園に統合】

令和3年度より、東地区3園が「おひさま幼稚園」に、西地区2園が「にじいろ幼稚園」として新たにスタートしました。

【保幼小連携協議会】

- 小学校及び幼児教育施設の管理職等による協議
- 合同研修会の報告、課題の共有
 - 連携体制の見直しや具体的な手段等の検討
 - 次年度の連携の見直し
 - 次年度の連携の推進を図ります。
 - ※R 2, 3年度は未実施



※本年度も感染症拡大防止の観点から、市主催の合同研修会・連携協議会の開催は見送り、実践状況のアンケート調査のみ行いました。連携園等のアプローチ・カリキュラムをスタート・プラグロムに生かしていきます。

常総市 保幼小接続のための「JOSO 連携フラワー・マップ」と「年間計画」

各ブロックにおいて年間計画案を参考に連携計画を検討する。

★小学校で交流

ブロック内で案内等

幼児・児童間交流

12月

- 市 保幼小接続のための合同研修会(担当者)

1月

- 市 保幼小連携協議会(管理職)
→年間計画検討

2月

- 小 入学説明会
★交流会

3月

- 小→幼 参観・引き継ぎ
- 幼 カリキュラム評価

アプローチ・カリキュラム

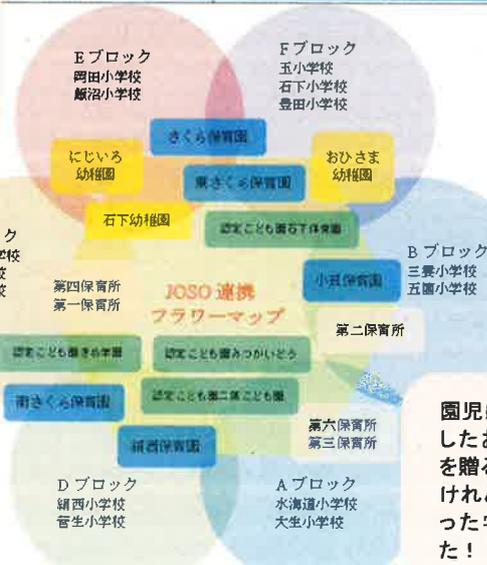
11月

- 市 教育支援委員会
(新学齢児)

各校のカリキュラム作成・連携状況等をオンラインアンケートで確認し、今後の課題等を共有しました。

10月

- 小 運動会(9校)
★年長児の種目参加
※R3年度は参加なし。
- 市 就学児健康診断
生涯学習課による家庭教育支援講座
※R3年度は資料提供のみ。
- 市 教育支援委員会
(在学児)



4月

- 小←幼 授業参観(招待)

5月

- 小 運動会(5校)
★年長児の種目参加
※R3年度は参加なし。
- 市 巡回相談

園児に生活科で作成したおもちゃや動画を贈るなど、会えないけれど心の交流を行った学校もありました！



千姫ちやま

スタート・カリキュラム

9月

- 市 保幼小連携アンケート
※R3年度は1月実施。
- 市 巡回相談

8月

- 小→幼 指導法研修会
参観及び協議

7月

- 小 カリキュラム評価
- 市 巡回相談 市教育支援委員会
- 市 市立幼稚園 計画訪問

6月

- 幼→小 指導法研修会
参観及び協議
- 市 巡回相談

【常総市内 小学校 14 市内幼児教育施設 17 (市立:幼稚園2 保育所5 私立:認定こども園4 幼稚園1 保育園5)

※R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できなかったものがあります。



筑西市

あらゆる世代が安心して暮らせる元気都市 筑西

～ 若者よ 筑西に ～

家庭・学校・地域による子供の生きる力の育成 [筑西市教育目標より]

筑西市保幼小連絡協議会

・役員会2回
・研修会3回



第1回研修会 授業参観

○小学校1年生での授業参観及び情報交換会(令和3年度は規模を縮小して開催予定だったが中止)

★「茨城県保幼小接続カリキュラム」の「小学校入学期～1学期の終わり」に示された「具体的な子どもの姿」との関連を明確にした授業公開です。情報交換会では「接続の在り方の改善点について」話し合っています。



第2回研修会 体験型研修会

○筑西市の就学相談について～特別な支援を要する園児の就学支援～
○幼児教育施設用「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」の作成方法と活用について

★「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」作成例を挙げ、作成方法の研修をしました。来年度は使用事例を紹介する予定です。

令和4年度 個別的教育支援計画(幼児教育施設用)

児童氏名	性別	年齢	学年	担当
山田 太郎	男	5歳	1学期	佐藤 先生
田中 花子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
鈴木 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
佐藤 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
伊藤 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋 真由	女	5歳	1学期	佐藤 先生
渡辺 拓也	男	5歳	1学期	佐藤 先生
山崎 結衣	女	5歳	1学期	佐藤 先生
水野 悠斗	男	5歳	1学期	佐藤 先生
森田 莉子	女	5歳	1学期	佐藤 先生
松本 健太	男	5歳	1学期	佐藤 先生
石川 美咲	女	5歳	1学期	佐藤 先生
木村 大輔	男	5歳	1学期	佐藤 先生
高橋				



未来を担う子どもを守り育む教育の充実 - 「遊び」が育てる「学び」の未来 -

1 質の高い幼児教育

- ・「知識や技能の基礎」「思考・判断・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の生きる力の基礎の育成
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を捉えた保育実践



【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

- ・坂東市 5 つの約束の実践

- 1 あいさつをする
- 2 呼ばれたら「はい」と返事をする
- 3 むいだはきものをそろえる
- 4 時間を守る
- 5 背筋を伸ばして座る

- ・RPDCAサイクルに基づいた指導改善
- ・異年齢交流や地域社会との交流の促進※
- ・年長クラスにおける英語活動 ※
- ・計画訪問における公開授業・協議及び園内研修
- ・衛生管理の徹底と衛生指導



※印の取組は、感染症対策のため今年度は実施延期または中止

2 保幼小の円滑な接続

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の小学校との共有
- ・アプローチ・スタートカリキュラムによる保幼小間の学びのつなぎ
- ・保育参観・授業参観・給食参観等の職員の交流 ※
- ・園児と児童の交流事業（ビデオメッセージやお便り等）
- ・入学前の新入児情報交換会等の引き継ぎ
- ・保幼小の円滑な接続のための研修会※



3 特別支援教育の充実

- ・保護者等との合意形成に基づく合理的配慮の提供
- ・坂東市こども発達センター「つくし」（0歳～就学前）、「にじ」（就学後～18歳）での療育及び支援
- ・個人記録「ばंदろうファイル」を活用した関係機関との連携
- ・市保育所等訪問支援事業における巡回相談
- ・教育委員会による教育相談及び就学相談
- ・教育支援委員会と連携した一人一人のニーズに応じた特別支援教育の実現

4 家庭教育支援の充実

- ・各種健（検）診にて、子育て情報の提供及び家庭教育相談（3ヶ月児、1歳6ヶ月児、2歳児歯科、3歳児）
- ・訪問型家庭教育支援事業での子育てサポート
- ・家庭教育通信による子育て情報発信

幼児教育と小学校教育接続のための取組

～幼児期の教育と小学校教育の支援・指導の連続性を目指して～

桜川市教育委員会



取組のねらい

桜川市では、平成28年度から市主催「幼児教育と小学校教育接続のための研修会」を実施し、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を推進してきた。幼児教育施設と小学校・義務教育学校の子どもたち同士・指導者同士が交流をする場を設けることにより、幼児教育と小学校教育の支援・指導の連続性を目指す。

1 幼児教育施設と各小学校・義務教育学校との交流

(1) 運動会への招待

時期:各校の運動会当日
対象:次年度入学予定の年長児
内容:9月中に運動会への案内を送付。当日は、かけっこ等の競技に参加。



(2) 職員同士の相互授業参観

時期:小学校・義務教育学校の夏季休業中等(随時)
内容:小学校・義務教育学校の教員が幼児教育施設を訪問。幼児教育施設の指導者が小学校・義務教育学校を訪問。

(3) 1年生との交流会

時期:入学説明会等の学校行事の際
内容:1年生が年長児と一緒に遊んだり、生活科で作ったものを紹介したりなどして交流。



2 幼児教育と小学校教育接続のための研修会

(1) 市主催の研修会

時期:2月開催
対象:市内全幼児教育施設・小学校・義務教育学校の担当者
内容:接続のためのカリキュラム編成、情報交換



(2) 学校主催の研修会

対象:市内幼児教育施設・小学校・義務教育学校の担当者
内容:幼児教育施設との情報交換



3 特別支援教育を核とし、円滑な接続を実現するための取組

(1) 幼児教育施設訪問

時期:4～5月
対象:市内公立幼児教育施設
内容:保育参観、1年間の保育内容の確認

(2) 調査員訪問

時期:7月
対象:市内全幼児教育施設
内容:保育参観、個別の支援を必要とする子の確認



(3) 夏季教育相談

時期:8月
対象:幼児教育施設、小・中・義務教育学校で相談を希望する保護者
内容:子育ての悩み相談、個に応じた学習の進め方について助言(専門家・特別支援学校教諭)

(4) 教育支援準備委員会

時期:2月
対象:市内全幼児教育施設代表者、小学校・義務教育学校特別支援教育コーディネーター
内容:年中児・年少児から気になる子を抽出し、その情報を共有

今後の取組

桜川市ではこれまでに幼児教育と小学校教育の接続を意識した取り組みが各校で推進されてきた。コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度まで実施していた各事業が実施できないのが現状である。

令和4年度は市主催の「幼児教育と小学校教育接続のための研修会」を開催し、幼児教育施設と小学校・義務教育学校の担当で円滑な接続に向けた協議をする場を設ける。また、コロナウイルス感染症の状況を見ながら、令和元年度以前の取組が実施できるよう、各校の指導助言にあたる。

音 町を愛し支える、意欲ある子を育む町づくり ～幼児教育と小学校教育のより良い連携・接続をめざして～

八千代町では、幼児期の育ちと学びを小学校教育へと円滑に接続するために、幼児教育施設・小学校・教育委員会が連携し、資質の向上に向けた取り組みを行っています。

幼児教育施設【私立9園】

- ＜認定こども園＞
 - ・さわきこども園
 - ・八千代ひかり幼稚園
 - ・八千代中央幼稚園
- ＜幼稚園＞
 - ・たちばな幼稚園
- ＜保育園＞
 - ・八千代保育園・安安静保育園
 - ・中結城保育園・ひかり保育園
 - ・みどりが丘保育園



小学校【公立5校】

- 西豊田小学校
- 安安静小学校
- 中結城小学校
- 下結城小学校
- 川西小学校

◇幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿◇



- (1) 健康な心と体
- (2) 自立心
- (3) 協同性
- (4) 道徳性・模範意識の芽生え
- (5) 社会生活との関わり
- (6) 思考力の芽生え
- (7) 自然との関わり・生命尊重
- (8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- (9) 言葉による伝え合い
- (10) 豊かな感性と表現

八千代町教育委員会: 学校教育課 生涯学習課

幼児教育施設訪問 (7月)

教育委員会（学校教育課・生涯学習課）と健康増進課（保健センター保健師）による町内保育施設訪問

保健センターの定期健診において、心身の発達に心配のある子に対して追跡している。各園を訪問し、様子を聞き取り、また、新年度に入学する子に対しての情報も共有している。



訪問時、体育教室を見学(さわきこども園)

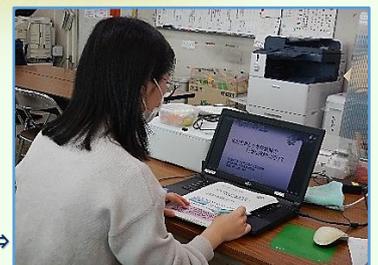
就学時健診・学校体験 (10月)



健診・体験終了、みんなでDVD視聴(町内小学校)

幼児教育と小学校教育の 接続のための研修会(2月)

八千代町教育委員会と茨城県教育委員会の共催により開催。コロナ禍のため、オンデマンド型研修とした。県生涯学習課に講師を依頼し、「幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて」と題して研修動画を作成していただき、各園・小学校に配信した。研修の様子: 動画視聴 →



家庭教育学級運営委員会 リーダー研修会(8月)

自己発見学校認定講師を招き、研修会を開催した。「今どきのお母さん～子どもの心が見えますか～」という演題で、幼稚園から小学校へと環境が変化する中での対応等の講話をいただいた。



生涯学習課: 子育て支援、子ども育成事業



＜子育て支援事業＞ クリスマス会



＜子ども教室＞ ・自然な中で遊ぼう ・おもしろ理科実験室「ふうせんが割れないよ」





夢を持ち かしく たくましく
心豊かに生きる境の子

境町 保幼小接続
「学びの芽生え」から
「自覚的な学び」へ —
境っ子の学び
み〜つけた!



境町立小学校5校、認定こども園5園、保育園2園の保幼小連携接続推進委員によるアプローチ・スタートカリキュラムの実践事例の交換や研修会を実施しました。子どもたちの健やかな成長のために、連携して円滑な接続に向けた取組を継続しています。

【境町保幼小連携接続推進事業】境町幼児教育と小学校教育の接続推進委員会

- ☆ 幅広い分野の推進委員による連携接続
学校教育課、生涯学習課、子ども未来課、教育支援センター指導員、各幼児教育施設代表、各小学校代表
- ☆ 保幼小連携接続推進委員会（年間2回 ※第1回目は中止）
- ☆ 相互参観（今年度は中止）
- ☆ 講演会（今年度は中止）
- ☆ グループ研修（今年度は1回の実施）



幼児教育と小学校教育通信 第1号

令和3年度、境町ではアプローチ・スタートカリキュラムの改善が行われました。改善に伴い、各幼児教育施設や小学校で行われている実践事例を紹介いたします。

「アプローチ・スタートカリキュラムの実践事例」（幼児教育施設・小学校）

文字を使い言葉遊び。連想し、言葉を組み立てています。

量を調節し、自ら決めた事で、完食しようとする心を大切に。

小学校に行くまでにしておくという事を紹介しました。

4月から別々の学校へ進む年長児の町内全小学校見学ツアー。

水防訓練の際、森戸小の校庭を見学したりチャームを見たり。

遊びの中で楽しく文字を覚えていける工夫を実施。

年長組はテラスとクラスの掃除、年中少組は枝石拾い。

生活科。あさがおの種とメダルのプレゼント作り。

境いずみ保育園と長田小でズーム、音読や音楽の交流。

グループ活動やインタビュー等を取り入れた学校探検。

町探検ではなぶさ保育園を訪ね、園の様子を見学。

1人ずつ廊下に出て、2年生から種のプレゼントをもらいました。

境町教育委員会 学校教育課 指導主事 松本 理恵先生より

今年度、境町アプローチ・スタートカリキュラムを見直し、改善を行うことで、これまでに以上に各幼児教育施設や小学校に応じた実践的なカリキュラムが作成されました。園生活や学校生活の中で、相互に意識した活動や交流を位置付け幼児期と児童期の「学び」をスムーズにつなげていきましょう。

幼児教育と小学校教育通信 第2号

令和3年11月30日、「境町幼児教育と小学校教育の接続推進委員会」が開催されました。幼児教育施設と小学校のグループ研修の様子と境町教育委員会指導主事木村貴子先生からの総括をご紹介いたします。

「幼児教育施設のアプローチ実践」と「小学校のスタート実践」の協議

〈協議テーマ〉

- 園児（幼児教育施設）と児童（小学校）の授業の在り方について
 - 例え、各幼児教育施設の園芸的な保育（授業）と小学校入学後の園芸の授業とのギャップをどのように埋めるか。
- 園児（幼児教育施設）と児童（小学校）の交流の在り方について
 - 幼児教育施設から小学校への交流はあるが、小学校から幼児教育施設への交流があまりないのではないかなという声が上がります。保幼小連携という視点からするとどうか。

〔Aグループ〕 〔Bグループ〕 〔Cグループ〕

- ひまわり保育園
- 認定こども園境町の子
- 長田小学校
- 野小小学校
- 子ども未来課

- おおぞら保育園
- 認定こども園境いずみ保育園
- 境小学校
- 森戸小学校
- 委員長・事務局長

- 認定こども園はなぶさ
- 認定こども園パンビーンせいしよう
- 認定こども園キリスト愛児園
- 猿島小学校
- 副委員長・事務局長

〈協議内容〉

- ①について
 - 幼児教育施設では、遊び（カルタからひらがな、トランプから数字など）の中からの学習している。外で体を動かしながら楽しく学習している。（小学校を完結しながら）
 - 生活の中で文字に関心をもたせている。
 - 小学校では、入学当初は、15分×3コマなど、学習と遊びを交えながらモジュール学習を取り入れている。幼児教育施設ではここまでできているということを考え、授業を進めていく。（相互を知ることが大切）
 - 幼児教育施設での活動を思い起こさせながら、自分でできるようにしていく。（幼児教育施設でどのような活動をしているのか小学校で把握できていないところがある。）
- ②について
 - コロナ禍のため、オンライン交流を実施。
 - 電話一本で相互参観ができるプラットフォームづくりができるとよい。

境町教育委員会 学校教育課 指導主事 木村 貴子先生より

遊びを中心とした幼児期の教育・保育と、教科等の学習を中心とする小学校教育では、教育内容や指導方法が異なっていますが、子どもの発達や学びは連続しています。幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のための、

- ① 幼児教育施設と小学校の継続をつなぐ
- ② 園児と児童、職員同士をつなぐ
- ③ 園児と児童をつなぐ

ことが大切です。幼児教育施設と小学校が、それぞれを知り、情報を共有することで、このコロナ禍でもできることで、繋がっていきます。

アプローチ・スタートカリキュラムの見直し・実践事例一覧

		境町保幼小アプローチ・スタートカリキュラム R3.12改訂						
		年長		小学1年生		小学2年生		
		4月	10月	3月	4月	10月	3月	
学びに向かう力	主体的に学ぶ力	造形活動 自ら選んで用具・材料を使って作品を作ることができる。	身体を十分に動かす 自ら選んで用具・材料を使って作品を作ることができる。	小学校体験 小学校（校庭）に行き、チャームを開く。	自己紹介 自己紹介の作品づくりに取り組むことができる。	学校探検 学校の中に、どんな教室があるか理解することができる。	読書習慣 友達を紹介する活動を通して、読書の楽しさを伝えることができる。	新入生交流会 交流会の準備に、自ら進んで取り組むことができる。
	人と関わりながら学ぶ力	健康体操活動 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	小学校探検 小学校（校庭）に行き、チャームを開く。	異年齢との交流 小学校生活のきまりを学ぶことができる。	学校探検 職員室、保健室等の先生とふれあうことができる。	学校行事への参加 委員会等の参加の仕方学ぶことができる。	新入生交流会 小学校生活について教えることで年長生になるための心の準備をすることができる。
生活の上の自立	規則正しい生活	感謝の気持ち お礼の手紙を書くことができる。	感謝の気持ち お礼の手紙を書くことができる。	高学年訪問 高学年の先生とふれあうことができる。	学校生活の仕方 小学校生活のきまりを知り、生活リズムを身に付けることができる。	高学年との交流 小学校生活のきまりについて学ぶことができる。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶことができる。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶことができる。
	健康で安全な生活	園外散歩 安全なルールを守りながら、散歩を楽しむことができる。	園外散歩 安全なルールを守りながら、散歩を楽しむことができる。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶことができる。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶことができる。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶことができる。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶことができる。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶことができる。
心の成長	人との関わり	創作活動 仲間と交流を楽しむことができる。	創作活動 仲間と交流を楽しむことができる。	大掃除 友達と協力しながら、大掃除を行うことができる。	異年齢との交流 お世話になる方々へお礼の手紙を書くことができる。	異年齢との交流 お世話になる方々へお礼の手紙を書くことができる。	異年齢との交流 お世話になる方々へお礼の手紙を書くことができる。	異年齢との交流 お世話になる方々へお礼の手紙を書くことができる。
	自身の心の成長	園外散歩 安全なルールを守りながら、散歩を楽しむことができる。	園外散歩 安全なルールを守りながら、散歩を楽しむことができる。	大掃除 友達と協力しながら、大掃除を行うことができる。	異年齢との交流 お世話になる方々へお礼の手紙を書くことができる。	異年齢との交流 お世話になる方々へお礼の手紙を書くことができる。	異年齢との交流 お世話になる方々へお礼の手紙を書くことができる。	異年齢との交流 お世話になる方々へお礼の手紙を書くことができる。
様々な経験に 基づく心の成長	異年齢交流	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。
	異年齢交流	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。	異年齢交流 友達と協力しながら、草花を育てることができる。
相互授業 参観等 その他の 接続に 関する取組	教職員	授業参観を通して、小学校生活について理解する。	授業参観を通して、小学校生活について理解する。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶ。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶ。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶ。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶ。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶ。
	保護者	家庭訪問を通して、小学校生活について理解する。	家庭訪問を通して、小学校生活について理解する。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶ。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶ。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶ。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶ。	進学準備 進学の準備をしながら、小学校生活のきまりについて学ぶ。

「接続期に育てたい子どもの姿」の明確化

- 健康な心と体で豊かに遊ぶ子ども
- ① 自分のことを自分で行おうとする子ども
 - ② 早寝早起き朝ご飯などの生活習慣を身に付け、あいさつのできる子ども
 - ③ 自然と触れあい、命を大切にできる子ども
 - ④ 自分や家族を大切にしながら他者を思いやるとともに、約束やルールを守ろうとする子ども
 - ⑤ 生活や遊びを通じた物事（物の性質や数量、図形、文字、標識等）への関心・感覚をもつ子ども
 - ⑥ 豊かな感性とそれを表現できる言葉などをもち、自分の考えや思いを様々な方向で伝えようとする子ども

保幼小接続に係わる幼児教育施設・小学校の取組を推進委員会で共有し連携接続のための教育活動に発展させる。